

けんぱくものしりシート

じょうもん ど き 縄 文 土 器

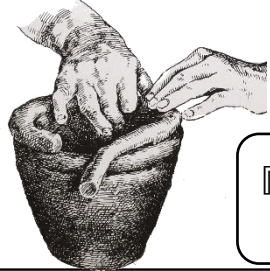


じょうもん ど き 縄文土器とは？

じょうもん ど き いま まん ねん ねんほどまえ じょうもん じだい
縄文土器とは今から1万2,000年~2,300年程前の縄文時代に
つか うつわ
使われていた、ねんどを焼いて作った器(いれもの)のことです。

【主な作り方】

①ねんどで平らな底を作り、その上にねんどヒモを積み重ねて形を整える。



②模様をつける

- ・縄
- ・細いねんどヒモ
- ・貝がら
- ・竹 など



③焼く



できあがり！

★名前の由来★

『縄文土器』=縄を転がしてつけた文様が多いのが特徴の土器。
→この縄文土器が使われていた時代を「縄文時代」と言うよ！

じょうもん ど き 縄文土器の使い方~土器でどんなことができる？~

縄文時代にはそれまで狩りをしながら移動をくり返して暮らしていた人々が、1か所に定住をするようになります。これは土器の発明によって、よりたくさんの食べ物を安定的に食べられるようになったからだとも言われています。

【煮る・炊く】

土器は木の器とちがって火にかけても燃えないので、食べ物の煮炊きができます。それまで生では食べられ



なかったドングリなどの木の実やイモ・マメ類などをたくさん食べられるようになりました。さらに煮炊きした食べ物はやわらかくて消化がよく、食中毒の予防や、栄養素をたくさんとれるといった効果もあらわれました。

【物をいれる】・【たくわえる】・【運ぶ】

木の実や水を入れておき、必要な時に使う・運ぶことができます。また、亡くなった人をおさめる棺やお祭りなどにも使われました。



いわて じょうもんど き だいしゅうごう
岩手の縄文土器 大集合!

じょうもんど き かたち もよう おお しゆるい
 縄文土器の形・模様には多くの種類があり、
 じきき ちいき ちがいがみ 見られます。
 はくぶつかん いわて じょうもんど き み
 博物館にある岩手の縄文土器を見てみましょう!



ふかばち
深鉢

もりおか し さんのうやま い せき
 盛岡市 山王山遺跡
 (岩手県蔵)

【煮る・炊く】
 おも なべ つか はか ひつき
 主に鍋として使い、お墓の棺
 に用いられたことも。



つぼ
壺

にのへ し まだちい い せき
 二戸市 馬立I遺跡
 (岩手県蔵)



【たくわえる】
 みず などをい 入れる



ちゅうこう ど き
注口土器

にのへ し あまたき い せき めいじ だいがく ぞう
 二戸市 雨滝遺跡 (明治大学蔵)

【注ぐ】注ぎ口の
 ついた、やかんの
 ような形の土器。
 お酒などをい 入れて
 注いだのかな?

てのひら サイズの小さな土器。神様へのお供え用の
 器、お酒・貴重品入れなどの説がある。



こうろがた ど き
香炉形土器

おうしゅう し ひがしうら い せき
 奥州市 東裏遺跡
 (岩手県蔵)



【香炉（お香に火をつけ入れる器）やランプ?】

香炉の形に似た土器。
 油を入れ燃やして明かりにしたランプかも?



もり
皿



ミニチュア土器

重要文化財 ◆ 一戸町 蒔前遺跡
 (一戸町教育委員会蔵)

ほか はくぶつかん いろいろ かたち もよう じょうもんど き かずおお てんじ
 この他にも博物館では、色々な形や模様の縄文土器を数多く展示してい
 ます。どんな土器があるのか、ぜひ探してみてくださいね!

参考 『考古学がよくわかる事典』PHP研究所2010年/『古代体験BOOK 縄文土器をつくろう』いかに社1999年他

「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時
 のものです。最新情報ではございませんので、
 あらかじめご了承 承 ください。
 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆し
 ております。



Eちゃん



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>